

「見つめよう！子どもの心～思春期の子どもとの付き合い方」

1. 2017年 青少年の非行等の概要

- ①刑法犯(14歳～19歳)の検挙人員数:26,797人(2007年:103,224人)
 - ・年齢別16歳最多、次いで15歳、17歳
- ②特別法犯(総検挙人員:5,041人)で増加したもの
 - ・児童ポルノ禁止法違反:709人(+102人)
 - ・大麻取締法違反:297人(+87人)、男子255人・女子42人

2. 2016年 文部科学省 問題行動調査結果

- ①いじめ 小237,921人(+86,229)、中71,309人(+11,807人)、高12,874人(+210人)
- ②自殺244人(+29)、うちいじめ10人
- ③不登校 小31,115人(+3,568人)、中103,247人(+4,839人)、高48,579人(-984人)
- ④校内暴力 小22,847人(+5,7699人)、中30,148人(-2,925人)、高6,462人(-193人)
 - ・検挙人員数926人、小88人、中751人、高87人

3. ネット社会の問題点と近未来の予想される変化

- ①ソーシャルメディアの利用実態(2016年)
 - ・LINE67.0%、Twitter27.5%、Facebook32.3%、Googl+26.3%、You Tube68.7%、Instagram20.5%
- ②10代の利用実態
 - ・LINE79.3%、Twitter61.4%、Facebook18.6%、Googl+28.6%、You Tube84.3%、Instagram30.7%
- ③トラブル、犯罪被害等
 - ・誹謗中傷(ネットいじめ)、プライバシーの流出、架空請求等の詐欺、ドラッグの売買、性犯罪被害
- ④依存症の実態
 - ・全国で420万人(児童150万人)
 - ・依存症の種類(検索依存、ゲーム依存、掲示板・動画閲覧依存、SNS依存、チャット依存)
 - ・依存症の症状(軽度～中程度～重度)
- ⑤依存症にさせないために心がける事
 - ・スマホに関するルール作りとフィルタリングサービスの利用
 - ・実体験を併せ持つこと、失う時間について考えさせる
 - ・ネットから離れる時間を意識的に作る
 - ・子どもが相談できる大人でいてあげること
- ⑥AIがもたらす近未来の変化について

4. 非行、問題行動にはしる子どもの心

- ①虐待、愛情物語不足がもたらすもの
- ②過干渉、又は条件付きの愛情(過度の期待)
- ③学力不足、自己肯定感の低さ

5. 子育ての最終目標と思春期への対応

- ①自立(自律)させ、常識のある大人に育て上げ、社会に送り出す
- ②本物の「生きる力」を身に付けさせる
- ③「卑怯は恥ずかしい」という規範意識、「あなたなら大丈夫」という自己肯定感の植え付け
- ④みんな我が子と思う子育て(地域における居場所作り)